

令和元年度 伊予中学校 学校評価

元年12月実施

1.◎でできている、2○、3▲、4×でできない

項目	質問内容及び目標値	総合	学校による考察・改善方法	評価	アンケート結果(%)				肯定率 (1, 2の計)
					1	2	3	4	
学習指導と教育課程	年間計画どおりに学習指導が進めている。 目標値: 肯定率100%(教①)	A	先生方にご協力いただき、授業時数の確保はできている。3学期も、授業時数の確保を優先して週予定を作成したい。	教職員① A	17	83	0	0	100
	よく分かる授業に努めている。(よく分かる授業をしている。)	A	前回より肯定率が上がっており、高い評価である。継続して「分かる授業」の工夫に努めたい。	教職員② A 生徒⑪ A 保護者⑥ A 地域	33 52 17	67 36 69	0 8 12	0 4 2	100 88 86
	自分の考えをまとめたり、伝え合う授業改善に取り組んでいる。(生徒:じっくり考え、進んで発言・話し合い。)	B	生徒の評価がやや低い。引き続き言語活動の充実を図った授業改善の工夫が必要である。	教職員③ A 生徒② B 保護者 地域	8 32	75 44	17 20	0 4	83 76
	道德の時間を要に「心を耕し鍛える」道德教育を推進している。(自分の思い・考えを深めている。)	A	各学級で充実した道德の授業が進められ、生徒の満足度は高い。教職員の意識を高めていくための研修を引き続き行っていきたい。	教職員④ A 生徒⑤ A 保護者 地域	36 48	45 43	18 7	0 2	82 91
	授業に真剣に取り組む、学力向上を目指して努力している。 目標値: 肯定率80%(教⑤・生①)	A	生徒の肯定率は高いが、十分ではないと回答している生徒の中にはいる。生徒の意欲をより高める工夫をしていきたい。	教職員⑤ A 生徒① A 保護者 地域	50 55	50 34	0 9	0 2	100 89
	家庭での学習習慣が身に付く指導をしている。(身につけている。)	B	全般的に肯定率が低く、特に保護者の評価が低い。家庭学習時間として、1年生80分以上、2年生90分以上、3年生100分以上を目指し、学習習慣の定着を図りたい。	教職員⑥ A 生徒⑦ B 保護者① B 地域	8 32 23	83 44 44	8 20 28	0 4 4	92 76 68
	生徒会活動・学校行事・部活動等で充実した活動を展開している。(充実している。)	A	肯定率が高く、良い評価である。生徒会活動や部活動の充実により、ほとんどの生徒が満足している。	教職員⑦ A 生徒④ A 保護者④ A 地域	23 69 37	77 24 57	0 5 5	0 2 1	100 93 94
	伊予中「あいうえお」に取り組むよう継続的に指導している。(実現できるよう取り組んでいる。)	B	継続して6年目の取組である。マンネリ化することなく、「あいさつ」ができる、いじめゼロ、美しい学校、笑顔あふれる、お互いを認め合う学校づくりに一層努めたい。	教職員⑧ C 生徒⑥ A 保護者 地域	0 55	58 39	42 5	0 1	58 94
	子どもの評価をするときには、集団の平均にとらわれず、子ども自身が成長した点を見て、個人内評価をすることが望ましい。 教師の評価と保護者の評価に差がある項目があり、学校のPR・頑張りや積極的に校外へ発信してはどうか。	学校の対応	子どもが成長できたことを、学校評価アンケートにも生かしていくようにしたい。 伊予中「あいうえお」の意識を教師・生徒が持てるように努める。 学校の取組を学校だよりやホームページを通じて地域の方に発信するとともに、学校評価を実施するときにも、学校の取組を伝える努力をしたい。						
	一人ひとりを大切にし、人間尊重を基盤とした集団づくりが できている。 目標値: 肯定率80%(教⑨・生⑮・保⑧)	A	教員集団としての取り組みにより、良い評価を得ている。今後は人権委員会の活動を中核にして、より啓発を進めたい。	教職員⑨ A 生徒⑮ A 保護者⑧ A 地域	33 51 22	67 38 66	0 8 9	0 3 3	100 89 88
人権・同和教育に計画的に取り組む、人権意識の高揚を図っている。(仲間づくりなどに進んで取り組んでいる。)	A	学級担任がそれぞれの学年・学級の状態に応じて適切な指導を行っていることにより良好な評価を得ている。引き続き継続していききたい。	教職員⑩ A 生徒⑧ A 保護者⑨ A 地域① A	25 62 26 69	67 31 65 27	8 7 6 4	0 1 2 0	92 92 91 96	
南伊予地区では幼稚園から熱心に取り組んできている。引き続き、人権・同和教育参観日などを中学校においても頑張ってもらいたい。	学校の対応	「伊予中学校人権宣言」を基に、互いの人権を尊重し合える集団づくりに努める。 公民館で行われる人権教育に引き続き協力して取り組んでいく。							

項目	質問内容及び目標値	総合	学校による考察・改善方法	評価	アンケート結果(%)				肯定率 (1, 2の計)
					1	2	3	4	
生徒指導	いじめ、不登校に対して誠実な態度で未然防止、早期発見、早期対応に努めている。 目標値: 肯定率80%(教⑪・生⑬・保⑩)	A	全般的に良好である。いじめについては、どの学校でも起こり得ることと認識し、軽微なものでも軽視することなく、生徒の様子をよく観察し、個別の声かけや教師間の連携を重視したい。	教職員⑪ A 8 92 0 0 100 生徒⑬ A 62 27 8 4 89 保護者⑩ A 22 64 12 1 87 地域 - - - -					
	様々な機会を通じて生徒と関わり、生徒理解に努めている。 目標値: 肯定率80%(教⑫・生⑭・保⑪)	A	全体的に良い評価を得ている。声掛けなどの関わりを通して生徒理解に努め、個別に対応もしていきたい。	教職員⑫ A 42 50 8 0 92 生徒⑭ A 48 37 9 5 85 保護者⑪ A 24 61 13 2 85 地域 - - - -					
	生徒も教師も気持ちのよいあいさつができる。 目標値: 肯定率80%(教⑬・生⑯・保⑤・地②)	B	あいさつが以前に比べて低調になってきていると教師・生徒ともに感じている。教職員が率先して行うとともに、生徒へ呼び掛けを行ってほしい。	教職員⑬ B 8 67 25 0 75 生徒⑯ B 35 39 21 5 74 保護者⑤ A 37 51 11 1 88 地域② A 46 43 11 0 89					
	朝食をとる、身だしなみを整える、時間を守るなど基本的な生活習慣が身に付くよう指導している。(身に付いている。) 目標値: 肯定率80%(教⑭・生⑰・保②)	A	肯定率が高く、良い評価傾向である。好ましい生活習慣が定着するよう、「早寝・早起き・朝ご飯」を継続して指導していきたい。	教職員⑭ A 8 92 0 0 100 生徒⑰ A 66 29 3 2 95 保護者② A 47 44 9 1 91 地域 - - - -					
学校関係者評価委員の所見	地域の大人からの声掛けや見守りが大切であるため、引き続き、地域と連携して行事を行うことにより、地域の方との人間関係作りにも努めてほしい。 子どもたちに、会釈や挨拶をする指導を継続してほしい。	学校の対応	生徒がしっかりと挨拶ができるように、意識して指導をしていきたい。「クリーン伊予」や秋祭りなどの地域行事に子どもたちが進んで参加するように促すとともに、地域と連携して行う行事を継続して行うことにより、地域と子どもたちがつながれるようにする。						
安全管理	保護者・地域と連携し、地域ぐるみの安全確保に努める体制ができている。(生徒:安全な登下校) 目標値: 肯定率80%(教⑮・生⑱・保⑫・地③)	A	良い評価を得ている。関係機関との連携を深めるとともに、担当者や学級担任の細やかな呼び掛けを継続することにより、生徒が安全に登下校ができるようにしたい。	教職員⑮ A 23 77 0 0 100 生徒⑱ A 85 13 1 1 98 保護者⑫ A 32 64 4 1 96 地域③ A 30 65 4 0 96					
	避難訓練等を計画的に実施し、非常時に対応できる体制をとっている。 目標値: 肯定率80%(教⑯・生⑲・保⑬)	A	全体的には良い評価である。今後とも避難訓練等の実施により、危機に対応できるよう改善していきたい。	教職員⑯ A 8 92 0 0 100 生徒⑲ A 66 27 6 1 93 保護者⑬ A 41 57 2 0 98 地域 - - - -					
	管理場所の施設を点検し、潜在危険の除去に努めている。 目標値: 肯定率100%(教⑰)	A	破損箇所の修繕はできるだけ速やかに行っており、今後も安全に学校生活を送れるようにしたい。	教職員⑰ A 23 69 8 0 92 生徒 - - - - 保護者 - - - - 地域 - - - -					
学校関係者評価委員の所見	本年度大きな交通事故などは起こっていない。しかし、「児童生徒をまもり育てる協議会」などの場で、危険箇所などの指摘があるため、引き続き通学中の安全確保に努めてほしい。	学校の対応	安全に通学ができるよう細やかな呼び掛けを行うとともに、登校指導などの機会を通して、事故無く登下校ができるよう指導する。						
特別支援教育	学習が遅れがちな生徒や配慮を要する生徒への適切な指導ができている。(個別指導や学習相談等) 目標値: 肯定率80%(教⑲・生⑳・保⑦)	B	保護者の中には、個別指導や学習相談をもっとしてほしいという要望がある。個別指導のための時間の確保やTTの活用方法について更に改善に努めたい。	教職員⑲ B 17 58 25 0 75 生徒⑳ A 48 40 9 3 88 保護者⑦ B 18 61 18 3 79 地域 - - - -					
	特別支援教育に対する教職員の共通理解が図られ協力体制を整えている。 目標値: 肯定率80%(教⑲)	A	支援が必要な生徒について職員会等で共通理解を図り、一貫した支援を行い、生徒が安心して学校生活を送れるようにしたい。また、合理的配慮やインクルーシブ教育についてなど、研修に努める必要がある。	教職員⑲ A 17 67 17 0 83 生徒 - - - - 保護者 - - - - 地域 - - - -					
学校関係者評価委員の所見	生徒の理解の状況に応じて、引き続き適切な指導を行ってほしい。	学校の対応	前回の調査より、生徒・保護者の肯定率が高くなっている。引き続き適切な指導ができるよう現在の取組を続けたい。						

項目	質問内容及び目標値	総合	学校による考察・改善方法	評価	アンケート結果(%)				肯定率 (1, 2の計)	
					1	2	3	4		
研修・働き方改革	研修計画に沿って授業研究に取り組み授業力の向上に努めている。 目標値: 肯定率80%(教⑳)	A	「分かる授業」を進めていくために、情報交換や自身で研修を行っていくことが必要である。	教職員⑳	A	8	75	17	0	83
	健全な社会人として信頼されるよう努めている。 目標値: 肯定率80%(教㉑)	A	教育公務員としてのサービスの徹底を徹底し、信頼される職員を目指していく。	生徒		-	-	-	-	
	働き方改革の趣旨を踏まえ、業務改善に取り組んでいる。 目標値: 肯定率80%(教㉒)	B	多忙な中ではあるが、効率良く業務を処理できるよう、工夫していきたい。	保護者		-	-	-	-	
				地域		-	-	-	-	
				教職員㉒	B	0	75	25	0	75
	生徒		-	-	-	-				
	保護者		-	-	-	-				
	地域		-	-	-	-				
	学校関係者評価委員の所見	まだまだ夜遅くまで頑張っている先生がいて、健康が心配である。昨年よりは早く職員室の電気が消えるようになったのは良かった。	学校の対応	業務改善に努めることにより、心身とも健康な状態で子どもたちの指導に当たれるように努めたい。また、保護者・地域から信頼される教師集団となれるよう、引き続きサービスを徹底したい。						
地域連携	学校教育の様子を学校だよりやホームページ等で情報発信している。 目標値: 肯定率80%(教㉓・生⑩・保⑭・地④)	A	学校だよりやホームページなどを活用して、速やかに情報発信ができるよう今後とも努力したい。	教職員㉓	A	23	77	0	0	100
	地域の教育資源(ひと・もの・こと)を生かした活動を推進している。「来てもらったり、出向いたり・・・」 目標値: 肯定率85%(教㉔・生⑱・保⑮・地⑤)	A	2学期は、生徒が地域へ出向いたり、地域から講師としてきていただく機会が増えた。引き続き地域の人材や素材を活用していきたい。	生徒⑩	A	65	29	5	2	94
				保護者⑭	A	43	52	4	1	95
				地域④	A	69	31	0	0	100
	学校から発信した文書類は、保護者の手元に確実に届いている。 目標値: 肯定率85%(生③・保③)	B	生徒は、90%の生徒が概ね文書類を届けることができていると評価しているが、20%の保護者は、手元に届きにくいと感じており、確実に届くように指導したい。	教職員㉔	A	31	69	0	0	100
				生徒⑱	A	67	27	4	2	94
				保護者⑮	A	42	56	2	1	98
	学校、PTA、地域はリサイクル運動等様々な行事を通して、よく協力して活動している。 目標値: 肯定率80%(教㉕・生⑳・保⑯・地⑥)	A	全体的に良い評価である。今後も学校行事や総合的な学習の時間において三者が協力できるようにしたい。	地域⑤	A	67	31	2	0	98
				教職員		-	-	-	-	
				生徒③	A	53	36	9	1	90
	保護者③	B	29	50	18	3	79			
	地域		-	-	-	-				
教職員㉕	A	31	69	0	0	100				
生徒⑳	A	69	25	5	1	94				
保護者⑯	A	52	45	3	0	97				
地域⑥	A	66	30	2	2	96				
学校関係者評価委員の所見	現在実施している行事や奉仕活動などを継続し、地域との連携に努めてほしい。	学校の対応	地域の方との関わりがある学校行事や総合的な学習の時間の取組を今後も継続し、地域とのより良い関係が作られるよう努める。							
施設	施設・設備や教材・教具が充実していて、活用している。 目標値: 肯定率80%(教㉖・生㉑)	A	限られた予算の中ではあるが、必要性の高い教材・教具を順次購入し、学習環境を整えたい。	教職員㉖	A	8	75	17	0	83
				生徒㉑	A	37	44	15	5	80
				保護者		-	-	-	-	
				地域		-	-	-	-	
学校関係者評価委員の所見	現在の施設や教材などを大切に使う指導を継続してほしい。	学校の対応	現有の施設・備品を感謝の気持ちを持って丁寧に使用していくようにしたい。破損箇所は市教委と相談しながら修繕しており、今後も速やかに対応したい。							